

アドバイザー支援における注意事項

- 支援対象である単位町内会または連合町内会としてお申し込みください。
- 3つのタイプを合わせて、14地域程度での支援を想定しています。応募多数の場合は抽選となります。
- 支援日時については、申込者とアドバイザーで協議の上、決定いたします。
- 支援（打合せ）に使用する会場は、申込者をご用意ください。

町内会アドバイザー派遣 申込方法

1 電話 011-522-5070（受付時間：平日9:00～17:30）

2 メール contact@kitaba.co.jp

メール、FAXで申し込まれた場合は
受付後に担当者から連絡いたします。

3 FAX 011-205-0311

申込期限

2026.8.18 火

※応募多数の場合は抽選により支援地域を決定します。



▼ 下記枠内項目を担当者にお伝えください。（FAXの方はご記入のうえ送信ください）▼

希望する支援タイプ （希望するもの） 1つだけに○	1 テーマ型支援 3～5回程度	希望する	2 伴走型支援 3回程度	希望する	3 若者企画・参加型支援 3回程度	希望する
希望する 具体的な支援内容						
町内会名			代表者名と役職			
電話番号			FAX番号			
住所			メールアドレス			

※ご提供いただいた個人情報は、本事業目的以外には使用いたしません。

申込み・
問い合わせ先

株式会社 KITABA 担当者 合田、松田（電話受付：平日9:00～17:30）
〒060-0061 札幌市中央区南1条西13丁目317番地3 フナコシヤ南1条ビル10階



SAPPORO

マチ
MACHITOMO
トモ

町内会の運営や活動でお悩みの町内会へ

町内会 アドバイザー 派遣

募集
14地域
程度

これからの札幌の町内会・自治会運営を考えた町内会への支援

町内会アドバイザー派遣制度では、アドバイザーを派遣して町内会それぞれの
課題やお悩みを聞き取り、町内会の活性化に向けた支援を行います。

町内会の状況に合わせた3つの支援タイプ

1
テーマ型
支援

募集
11地域
程度

町内会の課題解決に向けて、
テーマ別に支援を行います。

支援
回数 3～5回程度

2
伴走型
支援

募集
2地域
程度

令和7年度に町内会アドバイザー
派遣制度を活用した町内会限定

2か年の支援でより深く
発展的な支援を行います。

支援
回数 3回程度

3
若者企画・
参加型
支援

NEW

募集
1地域
程度

市内の若者ネットワーク
「マチトモLABO」と連携し、
若者とともに支援します。

支援
回数 3回程度

3つの支援タイプの詳細とお申込みは中面・裏面へ

主催：札幌市市民文化局市民自治推進課
業務受託者：株式会社 KITABA

町内会の状況に合わせた3つの支援タイプ

町内会アドバイザー派遣制度は、みなさんの町内会の状況に合わせ、3つのタイプに分かれた支援を行います。

1 テーマ型支援

3～5回程度

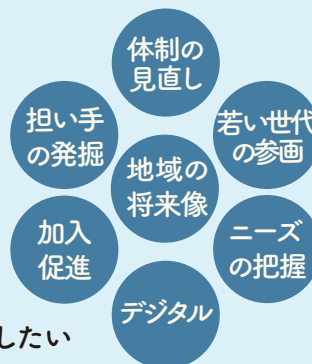
募集
1 地域
程度

●どんな支援が受けられるの？

町内会が抱える課題に応じた解決策を検討し、その後の具体的な活動や取組の実践・定着につなげます！

●どんな町内会におすすめなの？

- ・解決したい課題や困りごとがある
- ・会員のニーズを知り、今後の活動に活かしたい
- ・地域の将来や目指すべき姿について考えたい



具体的な支援の内容（イメージ）

課題・要望

- ・新たな活動の担い手を発掘したい
- ・子育て世代の行事参加が少ない

1 アンケートの実施・課題等の分析

会員や地域住民を対象にニーズの把握や担い手の発掘を目的としたアンケートを実施し、その結果から課題等を分析します。

2 解決策の検討・実践支援

地域の実情も踏まえながら解決策を検討し、活動や取組の実践・定着に向けて支援します。

例 サポーター制度^{※1}の導入



サポーターと役員の顔合わせを行いながら、サポーターが町内会活動を気軽に手伝える仕組みをつくり、担い手の発掘や活動の維持・継続につなげます。

例 電子回覧板^{※2}の導入



若い世代がより地域行事等の情報を閲覧しやすい環境を作り、イベント参加者の増加や多世代による交流機会の増加につなげます。

支援を受けた町内会の声

アンケートを取ってみたら「当日の手伝いならできる」と思っている方が意外と多いことに驚きました！

サポーター制度のおかげで、役員の「あれもこれもやらなきゃ」という精神的な負担がすごく軽くなりました！

電子回覧板を始めてから、子育て世代のイベント参加が目に見えて増えました！

※1 町内会活動のお手伝いを担ってくれる住民を登録し、単発的に行事の運営スタッフなどを手伝ってもらう仕組みです。現役世代などが時間の都合が合う時に町内会活動に参加することができます。

※2 これまでの紙の回覧板を画像などに電子化し、SNSや電子メール、ホームページなどのインターネットを活用して会員に届ける仕組みのことを札幌市では「電子回覧板」と呼んでいます。

2 伴走型支援

3回程度

募集
2 地域
程度

令和7年度に町内会アドバイザー派遣制度を活用した町内会限定

●どんな支援が受けられるの？

昨年度の成果をもとに、町内会が実践する具体的な活動や取組を発展的に支援し、自立した運営につなげます！

●どんな町内会におすすめなの？

- ・実践する活動や取組を定着させたい
- ・実践する活動や取組をより効果的なものにしたい



具体的な支援の内容（イメージ）

●サポーター制度の確立

昨年度の
成果

地域行事に協力可能な会員（サポーター候補者）を発掘



想定する
支援

町内会とサポーターの双方が、負担なくスムーズに協働できる体制を整えます。

- ・サポーター候補者との交流
- ・連絡調整や役割分担の明確化 など

●町内会運営のスリム化

昨年度の
成果

住民から「役員の負担軽減」や「活動の取捨選択」を求める声を多数集約



想定する
支援

地域の実情に合わせ、活動の必要性等を整理した「スリム化の具体策」を提案します。

- ・他都市や市内での成功事例の共有
- ・行事統合や会則見直しのサポート など

NEW

3 若者企画・参加型支援

3回程度

募集
1 地域
程度

●どんな支援が受けられるの？

市内の若者ネットワーク^{※3}と連携し、町内会行事の企画・運営を若者とともに支援します！

●どんな町内会におすすめなの？

- ・固定化した行事を見直したい
- ・若い世代と一緒に行事を盛り上げたい



具体的な支援の内容（イメージ）

1 町内会へのヒアリング

町内会の課題や若者との協働に対する期待や不安等を聞き取り、受入体制や役割分担などを整理します。



2 若者による企画

聞き取った課題等を若者ネットワークと共有し、若者が課題等の解決につながる行事や活動を企画・検討します。



3 顔合せ・事前準備

町内会の意向を踏まえ、若者が企画した行事等を町内会へ提案し、事務局が橋渡しをししながら、実施に向けて調整します。



4 行事等の開催

若者と一緒に行事の運営を行います。当日は事務局も同行し、町内会・若者双方をサポートします。



※3 市内の高校生～34歳の若者で組織されたネットワーク。札幌市が運用する町内会と若者をつなぐマッチングシステム「マチトモLABO」を通じて、市内で地域活動を実施しています。